

令和8年度
(2026)

学校案内

楽しく・明るく・笑顔のあふれる学校



沖縄県立大平特別支援学校

〒901-2113 沖縄県浦添市大平一丁目27番1号

TEL(098)877-4941 FAX(098)876-4148

<http://www.ohira-sh.open.ed.jp>

e-mail school@ohira-sh.open.ed.jp

本校の教育目標

児童生徒が障害等による学習上または生活上の困難を改善・克服し、児童生徒個々の自立を図るために必要な知識・技能・態度および習慣を身につけさせ、社会参加・社会貢献できる人間を育成する。

目指す児童生徒像

(知)目標を持ち粘り強くやりぬく児童生徒
(徳)心豊かで社会に貢献できる児童生徒
(体)心身ともに健康でたくましい児童生徒

校訓 「愛汗」

本校では、初代校長徳山清長先生の教えである「互いに認め合う愛の心を持ち、共に汗を流す」という「愛汗」の精神を土台とし、児童生徒一人一人の願いに応じた「自立と社会参加」、社会に「貢献」できる人を目指し、日々学習に取り組んでいます。



本校の特色

本校は、県内初の知的教育の養護学校として昭和39年度に創立され、昭和40年度に中学部のみ開校しました。その後、昭和43年度に高等部(普通科)、そして養護学校教育義務制実施に伴い、昭和54年度に小学部が設置されています。また、平成22年度に久米島高校分教室が設置されました。学区(通学区域)は、浦添市全域と那覇市・宜野湾市の一部です。

令和8年4月1日現在、本校の児童生徒数は、小学部105名、中学部91名、高等部106名の計302名で、久米島高校分教室には6名の生徒が在学しています。

本校の教育理念「愛汗」の精神を校訓とし、児童生徒の「主体的な活動による自立」と「社会参加・社会貢献」を目指し、その実現を図るために保護者や地域社会及び関係機関等と連携した教育活動を展開しています。また、児童生徒個々の実態に応じた教育の充実、教育的ニーズや特性に対応した支援の徹底を図り、「生きる力」を育む教育を推進し、小中高一貫校として授業実践に取り組んでいます。

今後も保護者や地域住民から信頼され、地域社会の皆様に応援される学校を目指します。

各学部の教育活動 ～小学部～

●小学部の主な行事●

交通安全教室 避難訓練 校外学習 修学旅行
学習発表会 愛汗祭 交流学习(学校間、居住地)

小学部の教育目標

- ①(知)身の回りのことに関心を持ち、自分でやろうとする意欲を育成する。
- ②(徳)身近な人に関心を持ち、他者と関わろうとする意欲を育成する。
- ③(体)基本的な生活習慣に関心を持ち、自分らしく元気に過ごせる力を育成する。



小2こくご「ほっとけーき」
「食べたい」「パカッ」など感情や擬音語を身振りやことばで表現するよ

●小学部の学習

- ・日々の学習活動で、少しずつできることを増やし、基本的な生活習慣を身に付けていく。
- ・体験的、具体的な学習を通して、経験の幅を広げ、日常生活や社会生活の基礎を育てる。



低学年 自立活動「電車ごっこ」
友達とペースを合わせて歩くよ。
(人間関係の形成/環境の把握
※個に応じて設定)

●児童数：105名

●職員数：44名

小学部は、情緒の安定を図り、身の回りの様々なことに、少しずつ慣れいく段階。スモールステップで、できることを増やしていきます。また人とかかわる楽しさを学びます。

各学部の教育活動 ～ 中学部～

● 中学部の主な行事 ●

交通安全教室 避難訓練 校外学習 修学旅行 舞台祭
校内持久走大会 愛汗祭（生産物販売） 交流学習

中学部の教育目標

- ①（知）学習や体験活動を通して、意欲を高め、粘り強さを育成する。
- ②（徳）集団活動を通して、他者を思いやり協力する気持ちと社会性を育成する。
- ③（体）自分の健康や生活習慣に関心を持ち、元気に過ごすことを心がける力を育成する。



校内実習（木工班）

● 中学部の学習

- ・ 身辺処理と基本的な生活習慣の確立。
- ・ 経験や体験を積み重ね、社会について学ぶ。
- ・ 社会の中で、いろいろな人との関わり方やコミュニケーション方法を学ぶ。
- ・ 職業・家庭の職業領域で働く楽しさや勤労意欲を育む。

● 生徒数：91名

● 職員数：39名

中学部は人間関係を広げる段階。身の回りのことを自分でできるようになると共に、将来の社会生活の中で、求められる力を身につけていきます。



修学旅行

各学部の教育活動 ～高等部～

●高等部の主な行事●

避難訓練 校外学習 修学旅行(2年生)
就業体験(校内実習・校外実習) 舞台祭 愛汗祭(生産物販売)
特別支援学校体育大会 校内持久走大会

高等部の教育目標

- ①(知)生活力、働く意欲を高め、最後まで粘り強くやり抜く力を育成する。
- ②(徳)共働・協力意識と望ましい人間関係や勤労意欲を育成する。
- ③(体)健康の保持増進と体力の向上を目指し、生涯にわたって豊かな生活を送るための資質・能力を育成する。



特別支援学校
体育大会



修学旅行

●高等部の学習

- ・社会生活に必要な知識や態度、習慣を育てる。
- ・社会の中で自立し、社会参加・社会貢献できる力を育む。
- ・自分を知り、自分にあった進路先を主体的に選択し、進路決定できる力を育てる。

●生徒数：105名

●職員数：50名

高等部は社会へつなげる段階。これまでに身に付けてきたことを深く定着させて将来につなげる学習を行います。

また自分の特性や課題を知り、主体的な進路の選択・決定を行えるようにします。



就業体験



職業科(木材加工)の実習



寄宿舎紹介

●寄宿舎の主な行事●

お楽しみ会 舎友会レク 誕生会 心と体の学習会

寄宿舎の教育目標

- 身辺処理能力を高め、自分のことは可能な限り自分でできるよう力を養い、基本的な生活習慣の定着を図る。
- 心身ともに健康で明るく、情緒豊かな児童生徒を育てる。
- 集団生活を通して望ましい人間関係を育て、相互の協力精神や自主性・社会性を養う。
- 余暇活動を通して自分の生活を豊かにしていく力を養う。



舎友会レク



心と体の学習会

集団生活を通して、入浴・食事・排泄・就寝などの基本的な生活習慣を身に付けます。また、行事や係活動、友達との交流を図ることで、社会性も培われます。

子どもたちは、互いに協力し合い、生き生きと楽しい生活を送っています。



生活自立

◆寄宿舎の児童生徒数：28名

◆職員数：18名（寄宿舎指導員:16名 専任舎監：1名 寮務主任:1名）

高等部卒業後の進路先

自分の将来に関心を持ち、それぞれに応じた自立、社会参加を目指します。

卒業年度		R7	R6	R5	R4	R3
企業就労		3	5	4	9	10
福祉サービスの利用	就労移行	6	17	10	22	11
	就労継続A型	1	0	2	1	0
	就労継続B型	10	5	3	1	6
	自立訓練	2	4	0	2	2
	生活介護	5	8	7	5	9
進学等		1	0	0	0	0
その他 (在宅、入院、未定等含)		3	0	1	0	0
卒業生数		31	39	27	40	38

※R8年3月現在の状況、久米島高校分教室は除く。

教育相談のご案内

障害のあるお子さんの就学、進路及び心や体の発達のことや行動等についての相談を行っています。お気軽にご相談ください。
電話相談・来校相談などがあります。

《受付窓口》教育支援係

TEL：(098) 877-4941

【音声案内4】

《電話相談》毎週月曜日～金曜日

10:00～16:00

《来校相談》

○あらかじめ電話で申し込みください。

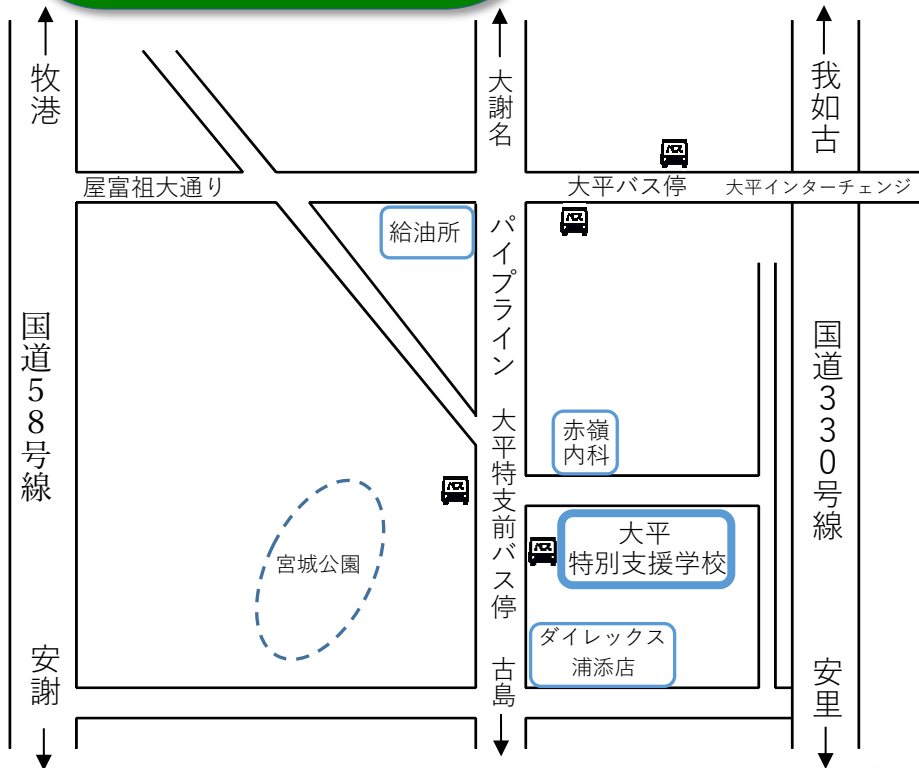
○相談費用は一切かかりません。秘密は厳守します。

地域の特別支援教育のセンター的機能の一環として、教育相談以外にも、次のことを行っています。

○保育所、こども園、幼・小・中・高等学校との連携、巡回教育相談など

○関係機関との連絡調整(福祉・医療等)

周辺地図



通学方法

※児童生徒の実態に応じた通学方法を、届け出に応じて調整しながら決定します

①スクールバス	義務教育優先、登下校時に自己の安全管理、路線バス利用、自転車通学等が困難な児童生徒 ※利用者選考基準により決定
②保護者送迎	徒歩か自家用車で保護者送迎可能者
③路線バス (自力通学)	路線バス利用で自力通学可能者 ※県の規定により運賃の実費補助あり
④徒歩 (自力通学)	徒歩圏内で自力通学可能者
⑤自転車 (自力通学)	自転車利用で自力通学可能者
⑥その他	保護者が契約した学童、児童デイ等の送迎サービス利用者

徴収金・就学奨励費

項目	授業料	学校取扱金	就学奨励費
小学部	徴収なし	徴収あり	制度あり
中学部	※義務教育		
高等部	徴収なし		

I 段階	実費補助
II 段階	実費半額補助(通学費は実費補助)
III 段階	通学費のみ実費補助

主な項目
 ①学校給食費 ②通学費(路線バス利用、保護者自家用車送迎など) ③帰省費 ④職場実習交通費(中学部・高等部) ⑤修学旅行費、校外活動費(借用バス、入場料など) ⑥学用品等購入費 ⑦寄宿舍居住関係経費(寝具購入、日用品等、食費など)

通学区域

浦添市全域
 那覇市の一部
 宜野湾市の一部

スクールバス

Aコース(我如古、伊祖方面)
 Bコース(港川、沖国大入口方面)
 Cコース(安謝、おもろまち方面)
 Dコース(末吉、石嶺方面)

